

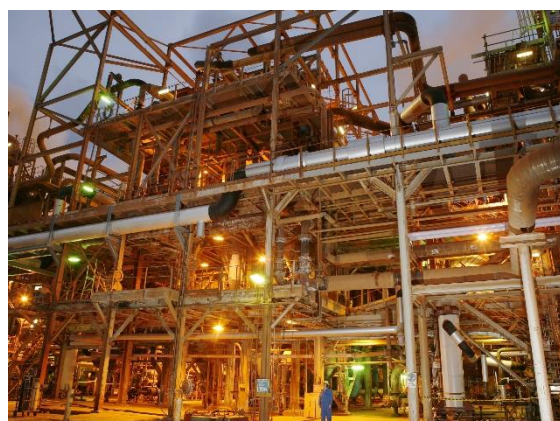
2025 年 8 月 4 日
双日株式会社

豪州におけるガリウム生産開始に向けた共同調査を開始

～重要鉱物の新たなサプライチェーン構築を目指す～

双日株式会社(以下「双日」)は独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(以下「JOGMEC」)と、豪州におけるガリウム生産に向けた共同調査を行うための合弁会社である Japan Australia Gallium Associates Pty Ltd を通じて、世界最大級のアルミナ生産者である米国 Alcoa Corporation 傘下の豪州法人である Alcoa of Australia Limited(以下「Alcoa」)と、西豪州に所在する Alcoa のアルミナ精錬所(稼働中)におけるガリウム生産に関する共同調査(以下「本事業」)契約を締結しました。今後、共同で事業化調査と検証を進め、2025 年末までに最終投資判断を行う予定です。事業化する場合、2026 年の生産開始と安定供給を目指します。なお、双日は、生産したガリウムを日本を中心とした需要国へ販売していく予定です。

ガリウムは、日本政府をはじめ、豪州・米国・欧州などにおいて重要鉱物の一つに定められています。また、LED、太陽光発電セル、そして化合物半導体の材料など幅広い用途で使用されています。今後、半導体需要の伸びにけん引される形で全世界で需要増が見込まれています。



【ガリウム生産設備 建設候補地の Alcoa のアルミナ精錬所 Wagerup (左) と Pinjarra。(西豪州パースの南部)】

ガリウムは自然界で単体鉱石としては存在せず、ボーキサイトや亜鉛鉱石などに微量に含まれる元素であり、アルミナや亜鉛への精製過程で副産物として分離・回収する方法が一般的です。本事業は、ガリウムの安定調達先の確保に取り組む JOGMEC と、1980 年よりアルミナ精製事業に携わる双日が合弁会社を設立

し、Alcoa とともに、西豪州で稼働中のいずれかのアルミナ精錬所でガリウムを副産物として生産する設備を共同開発し、長期かつ安定的な供給を目指すものです。

双日の金属・資源分野においては、カーボンニュートラル社会実現、新興国の成長支援の他、デジタル化の進展に伴い、今後ますます必要とされる半導体や電池材料向け重要鉱物・資源確保といった社会ニーズをとらえ、中長期にわたって安定的な資源の供給体制を構築していきます。

双日は、JOGMEC、Alcoa と共に、本事業を通じガリウムの新たなサプライチェーンの構築と多角化を実現し、安定供給に貢献していきます。

【Alcoa の概要】

会社名	Alcoa of Australia Limited
設立	1961 年 6 月
所在地	Level 2, 235 St Georges Terrace, Perth, WA 6000, Australia
代表者	Elsabe Muller
主な事業内容	ボーキサイトの採掘、アルミナ・アルミニウムの生産